



まいづるきょうさい

1

Jan 2013

新春号

Vol.18

<http://www.maiduru.com>



平成26年完成予定の新病棟

目次 Contents



ご挨拶・病院行事

P2~3



食だより

P6



私たちの部署紹介

P4



理念・基本方針

P6



活動レポート

P5



すこやか森ニュース

P7



PICK UP

P6



診療時間・外来各科診療担当医

P8

ホームページもご覧ください

舞鶴共済病院

検索





病院長
布施 春樹

年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年はロンドンオリンピック・パラリンピックにおける数多くの日本人選手の活躍で我々は感動し、そして山中伸弥京都大学教授のノーベル医学・生理学賞受賞は日本人であることに誇りを感じるビッグニュースでありました。

一方、悲惨なトンネル事故は記憶に新しいことですが、福島原発事故の被災者の復興問題をはじめとする原子力問題、増税問題、領土問題などの中で、昨年末には、衆議院総選挙が行われ劇的な政権交代がございました。これから起こる医療政策の変化を的確にとらえて対応していくことが今後必要と思われます。

このような国内情勢の変化の中、舞鶴共済病院も昨年大きな変化がありました。

一つは約10年前に計画された新病棟の建築がようやく始動したことです。築50年になろうとしていた管理棟、RI棟が解体され、昨年12月19日に起工式を執り行うことができました。これから約1年をかけて新病棟が建築され竣工される予定です。患者さんのアメニティーを考慮したより快適な入院環境、より効率的な診療体系による診療体制の改善、さらに職員の働きやすい職場環境も考慮して設計されています。1年間、患者さんおよび近隣の住民の皆さん、職員の皆さんにも騒音・振動等ご迷惑をおかけしますがご理解ください。

二つ目はフルオーダーリングの実施です。昨年10月に稼働されました。新病棟建築と重なり、進捗してきましたので、職員の皆さんにはご努力をしていただき、ご苦勞をおかけしました。改めて感謝申し上げます。今後本年7月を目標に電子カルテを導入します。電子カルテでないためにその運用が煩雑になっている面もありますので、その導入については、今年度の最重点項目として進めていこうと思います。

三つ目は地域医療支援病院認定を、昨年5月に取得できたことです。これには職員の皆さんのご努力、ご協力のみならず、連合会本部、舞鶴市医師会の先生方など様々な方面から支援を頂き京都府からの認可となったわけです。これからもこれを継続して、病診連携、病病連携を積極的に進めることが重要であると考えています。そのためにこれに伴う病院主催の行事の際のご協力をよろしくお願いいたします。

昨年年頭の挨拶でこれらは重点項目としてお示ししましたが、この中で昨年中には到達できなかったことがありますので継続事項として申し上げます。

まず京都府がん診療推進病院の獲得です。獲得条件の一部不足しているところを早急に改善し、申請したいと思います。新病棟には放射線治療を併設してありますので、がん治療を病診連携で推進するためにも、なお一層の努力でぜひ取得したい認定です。

次に医師確保です。まず臨床研修医の確保は、昨年以上に喫緊の課題です。「研修医なき病院に常勤医なし」の考えの基に、最も効率よくさらに幅広く病院を挙げて研修医確保の方策を進めていきます。

また、特に内科医師の確保は、引き続き全力で進めます。そのためにはホームページを充実させ、当院の各職種の正確な最新の情報を発信することも重要であると思います。そのため昨年末にホームページ運用委員会を立ち上げました。

さらに看護師確保です。これは7:1看護体系の確保に必要です。病院の安定した収支、看護師の業務改善を考えても7:1看護体制はぜひ必要です。この認定は直近1年間の実績が必要ですので、昨年得た実績をもとに集中的に議論して準備しようと思います。

医師・看護師確保につきましては、当院独自の確保努力は引き続き行いますが、連合会34病院のグループ病院として人的交流を推進していくことも重要であると考え、積極的にアピールしていこうと思います。

最後に、これから職場の環境整備を重点的に考えようと思っています。すなわち、働く意欲が湧くような働きやすい職場環境です。人と人との関係で職場は成り立っています。その関係を良好に保つために、積極的にかかわっていこうと思います。

これからも職員の皆さんと正しい情報の共有ができ、職員の皆さんが同じ考え、同じ方向性で働けるような病院造りをしていきたいと思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後に平成25年が当院にとっても、皆さん一人ひとりにとっても、よい年となることを祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

新病棟起工式

去る、平成24年12月19日(水)に白糸濱神社の斎主をお迎えして当院の敷地で「舞鶴共済病院新病棟その他工事」の安全を祈願して「起工式」が執り行われました。

建築主として連合会本部からは病院担当常務理事、旧令病院部長、管財・営繕部長が臨席され、病院からは布施院長はじめとする関係職員の方、設計を担当されている丸川設計事務所、施工を担当されている戸田建設株式会社の関係者が参列され滞りなく終えることができました。

さて、今回の工事の基本コンセプトは舞鶴地域の急性期医療を強化するため医療環境の整備を目的といたしております。

概要は病院の2階部分を治療コアゾーンとして位置づけ、手術室、血管造影室、ICU・CCUの集中治療室を集中化及び一体化した整備を行い、効率的で安全、安心な医療体制を確保することが主眼となっております。

事務部長 遠藤 真弘



建築規模について

新築	新病棟(C棟) フロアー計画	新館(B棟) 改修工事後のフロアー計画	本館(A棟) 改修工事後のフロアー計画
新病棟(C棟)	1階 透析センター、外来(泌)	1階 消化器センター、内視鏡室	1階 総合受付、外来(内、眼、整、産、耳)
建築面積 2051.88㎡	RI、リニアック	2階 ICU・CCU(10床)	救急室、外来化学療法、薬剤科
延床面積 9206.31㎡	2階 手術室(8室)、中央材料室	血管造影室(2室)	2階 外来(心臓病センター)、検査科
	3階 入院病棟(54床)	心臓リハビリセンター	放射線科
	<内 感染症対応室(2床)>	3階 入院病棟(47床)	3階 外来(小、皮)、健診センター
改修	4階 入院病棟(54床)	4階 医師管理部門、会議室、研修室	4階 管理部門、会議室
新館(B棟)	<内 無菌室(8床)、感染症対応室(2床)>	5階 入院病棟(45床)	5階 職員厚生部門、当直室
本館(A棟)	5階 入院病棟(54床)	6階 入院病棟(46床)	
	<内 感染症対応室(2床)>	7階 栄養科、レストラン	

新年へ向けて

舞鶴共済病院は地域の急性期病院として、その役割を発揮することを使命としています。新棟建築や電子カルテ等のインフラ整備に本格的に取り組む中で、患者さんにとってよりよい療養環境が提供できるように医療・看護ケアの質を維持・向上させるよう日々努力しているところです。高齢化社会での看護職の定着に向け、看護職員の働く環境改善に向けて平成22年に厚生労働省から通達が出され、全国的にも多くの病院で雇用の質改善への取り組みが実践されています。これらは、看護師確保・定着への必須条件でもあります。当院でも、23年度は育児休暇等を取得した看護職は50人を越え24年度には保育所定員の拡大をしました。

少子化の中で子供を産み育てることが出来る組織だと言えます。このように育児をしながら働く環境が整備される一方で、入院患者さんを支える夜勤看護職の不規則な勤務は、健康上でも医療安全上でも問題があるとの報告があります。今回の新棟建築とともに病棟再編を行う中で、病院全体で改善できるように取り組みたいと考えています。また、新人だけでなく全看護師の屋根瓦式育成環境の定着、それぞれが認め合え、成長できるパートナーシップ導入への取り組みも目標にしています。労働環境の質改善は看護(師)の質を上げることに繋がり、最終目標である患者さんの満足度の向上に繋がります。職員の皆様、関係者の皆様、25年度もどうぞよろしくお願い致します。

看護部長 野々下 イツミ

**私たちの
部署紹介**

ICU・CCU

(Intensive Care Unit)

(Coronary Care Unit)

院内各部署で行われている仕事内容をご存知ですか？
院内には多数の部署があり、様々な患者様のケアを行っています。

ICU・CCUって何!?

ICUとは集中治療室のことをいいます。
全ての科の生命の危機的状況にある患者さんを受け入れ24時間体制で高度集中治療及び看護を行っています。
CCUとは冠動脈疾患集中治療室のことです。
急性心筋梗塞や不安定狭心症、重症心不全などの重症心疾患に対して集中治療を行うとともに、緊急心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術などの高度医療を行っています。



ICU・CCUってどんなところ!?

ベッドの数は全部で10床あります。壁で仕切られた部屋が4床、カーテンで仕切られた部屋が6床です。各ベッドサイドには患者さんの状態の変化がすぐに捉えられるようにモニターが設置されており、少しの変化も見逃さないよう24時間観察しています。

看護師は、各科医師をはじめ様々な職種と連携をとりながら、治療、看護にあたっています。患者さん2名に対して看護師1名以上が受け持つ体制をとっており、濃厚な看護を24時間体制で提供しています。

スタッフからみなさんへ

少しの迷いが患者さんの生命に直結する場所でもあるため、看護師は常に最新の知識と技術をふまえ、質の高い医療、看護を提供できるよう努めています。

大きな手術を受けられた患者様には少しでも早い社会復帰を目指して、状態に合わせてリハビリを進めたり、入浴できないことも多いため少しでも気持ちよく過ごして頂けるよう、手や足を洗ったりベッドの上でのシャンプーを行ったりと清潔ケアにも力を入れています。

身体のケアのみならず、特殊な状況におかれた患者さんとそのご家族に対しての心のケアも大切にし、不安の軽減に努めています。

ICU・CCUは「怖い」「冷ややか」なところだと思いがちかもしれませんが、スタッフ皆が情熱的な看護をしていますので、実はとても「アツイ」ところなんです。
決して好んで入室する場所ではありませんが、もしもの時には私達が全力でケアします！



**私たちがいるのでご安心を！
どんな緊急事態もおまかせ下さい！**

舞鶴共済病院ランニング倶楽部

2000年頃から数人で走り始めた当倶楽部も、現在は約20名ものメンバーが集まっています。昨年度の活動として、春は小浜市の若狭マラソン大会に6名、秋には高浜町のハマナスマラソン大会に8名で参加してきました。大会の帰りには花見をしたり、温泉で汗を流したりして親睦を図っています。一昨年は福知山マラソン大会の42.195kmにチームエントリー（10名）するまでになり、メンバーの中には京都マラソン、大阪マラソン、神戸マラソン等に参加して個人的にもランニングを楽しむ本格派が増えています。

練習は毎週火曜日に集まったメンバーのレベルに合わせて、約1時間走って（歩いて）います！

ダイエットや健康増進、体力増強etc と、各自の目標は異なりますが、倶楽部としては近隣の市民マラソン大会を皆で楽しく完走することを目指して励んでいます。

メンバーは色々で、マラソン歴20年以上のベテラン技師や、自主練好きの先生、オシャレで走り始めたナースまで、幅広く集まっていますので、それなりのレベルに合った練習ができます。また、グッズの選び方や、走り方についてのアドバイスもあるので、初めてでも気軽に参加できます。次年度からは倶楽部活動として公認を頂き、職員の健康増進と病院のアピールをしながら、各大会に参加できるように今後も皆で走りたい（歩きたい）と思います！（^^）！

部長 はら



舞鶴共済病院 第15回 クリスマスコンサート

去る12月20日（木）17:00から恒例のクリスマスコンサートを開催しました。病院職員の手作りによるこのコンサートは、患者さんに束の間の癒しの時間をもっていたいただければとの思いで始まり、今回で第15回を数えることとなりました。

当日は新館7階食堂の特設会場に、点滴スタンドを小脇に抱えた患者さん、車椅子で看護師に誘導される患者さんなど60名ほどの患者さんに集まいただきました。

最初に、看護部の発表は「幸せなら手を叩こう」など3曲、患者さんと一緒になって手や体を動かす歌が披露されました。有志の看護師が集まり、忙しい中で練習をしてきました。次の薬剤師によるホルン（管楽器）の独奏「少年時代」「青春の輝き」には患者さんもうっとり聞き入っていました。

最後に、今回特別に参加していただいた青葉中学校合唱部の皆さんによる「見上げてごらん」「きよしこの夜」「ビリーブ」のクリスマスシーズンに相応しいコーラスが披露されました。生徒の皆さんの美しいハーモニーに患者さんも職員も感激して、患者さんからは最後の曲にアンコールの声がかかるほどでした。

手作りコンサートは準備や練習も大変ですが、終わってみると来年もこの癒しのコンサートが続けられればと思える時間でした。



舞鶴支援学校行永分校の 作品展示

新館7階「なばな」11月26日～30日

ポエム 「弱虫だけど」

辛いとき/辛いって言えたら/いいいのにな/
ほくたちは強がって/笑う弱虫だから/

（展示作品の中から抜粋）

舞鶴支援学校行永分校は舞鶴医療センターに入院中の小学生・中学生が病気治療をしながら通学している学校です。治療状況に応じて病室でも授業が受けられるようになっているそうです。みんな病気に負けずにがんばって下さい。





NST講演会



12月4日に、当院 新館7階なばなにおいて、NST講演会を行いました。毎年、外部から講師の先生をお招きして、栄養に関する講演会を開催しています。今年は、神戸赤十字病院で管理栄養士をされている福井俊弘先生をお招きして、「災害時における栄養管理」というテーマでご講演をいただきました。この日は、地域医療連携室より呼びかけを行い、周辺の医療機関からも講演会にご参加いただきました。福井先生は、神戸赤十字病院栄養課長としてご活躍されており、阪神淡路大震災の時には救護員としての訓練も受けていらっしゃいます。

講演の内容は、災害時に最低限必要なものや備蓄食のポイントの説明、阪神淡路大震災や東日本大震災での実際の救援物資・ライフラインについての紹介などがありました。また、神戸赤十字病院でされている備蓄食やライフラインの紹介に加え、栄養課の和気あいあいとした紹介スライドなどもあり、ところどころに笑いが盛り込まれた講演でした。

いつどこで起こるかわからない災害について、貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な講演会となりました。講師の福井先生、ご参加いただきました周辺医療機関の皆様、ありがとうございました。



当院では、入院患者様に対して、治療食というだけでなく、食事の時間が楽しくなるよう行事食を取り入れています。

旬の食材を使用し、お食事からも季節を感じて頂けるよう心掛けています。

ほんの一部ですが、当院の行事食をご紹介します。



元旦 おせち



3月3日 ひなまつり



出産祝い膳



5月5日 こどもの日



11月23日 勤労感謝の日



12月24日 クリスマスイブ

Idea of Maizuru Kyosai Hospital

舞鶴共済病院 理念

当院は患者様に良質で
安心していただける医療を
提供いたします

Basic Policy

基本方針

1. 良質で安全な医療

私達は安全で質の高い医療をめざし患者様の信頼を得るよう全力を尽くします

2. 患者様を中心とした医療

私達は患者様の人格・権利を尊重し充分な説明を行うとともに
患者様の了解のもとに医療を行います

3. 地域との積極的な連携

私達は地域の医療ニーズに応え地域と密接な連携を大切にします

maizuru kyosai hospital

レクリエーション行事

今年度最後の大きな行事「のど自慢大会」を12月13日に開催致しました。利用者様と職員が工夫をこらし、歌あり踊りありと、会場を盛り上げてくれました。

利用者様は、日々のレクリエーションの時間などに練習を重ね、この日にのぞみました。日々の生活ではなかなか味わえない良い緊張を感じておられたと思います。観客の利用者様も職員も、笑いと感動が絶えないひとときとなりました。



第14回

「作業の会」紹介

さつまいも

待ちに待った「芋堀り」を10月に行いました。よく肥えた芋がたくさん収穫できました。

「焼き芋」にしたり「ふかし芋」にしたり「ぜんざい」の中に入れたり、皆さんに食べて頂くことができました。



落花生



「落花生」は収穫後、しっかりと乾燥させ、殻を叩き割り、薄皮の状態になれば、ホットプレートでじっくりと炒ります。その後薄皮を剥いたものに水を加えてミキサーにかけ、砂糖を加えてコトコトと焦げないように煮詰めます。

そして完成したものが「すこやか農園のピーナツクリーム」です。

食パンやクラッカーに塗って、おやつに頂く予定です。

担当:小谷・須貝



たくさんのお母様方に
関わって頂いてできた
ピーナツクリームです!